

防災

—事業を継続させるためのソリューション

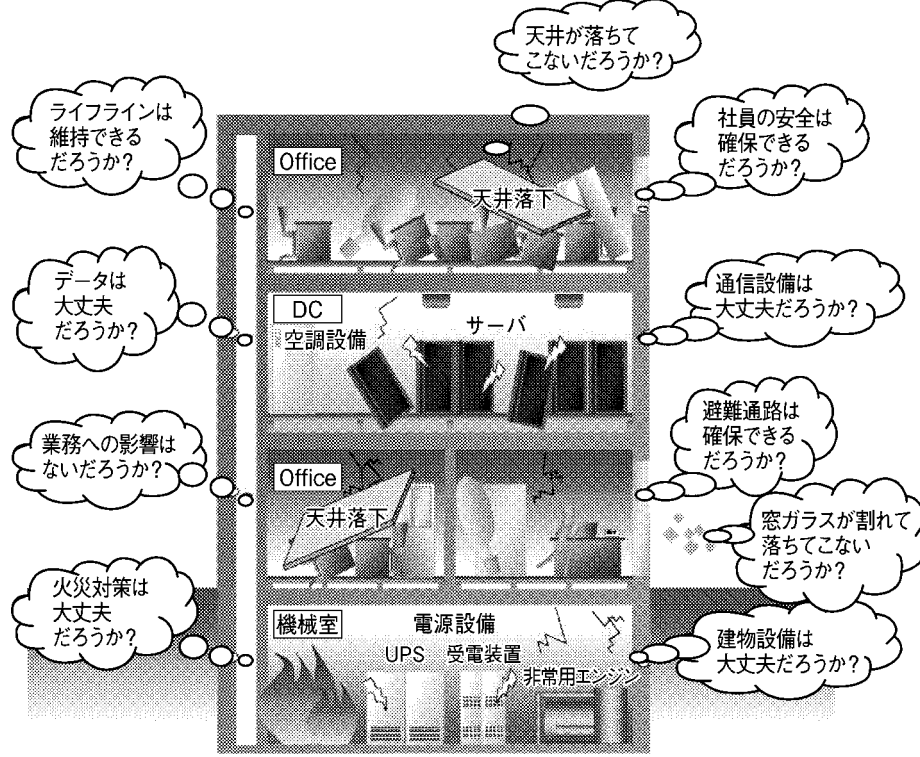


図3 地震による建物内部の被害

まず①の減災対策とは被災時の建物、設備などの被害を最小限に抑え、社員や来客者の安全を確保し、事業再開のための環境を確保するための対策である。施設の耐震補強、設備の耐震対策や転倒防止、建物内の電気・空調設備の診断、停電対策など多岐にわたる。その中でも「非構造部材や建築設備への地震対策」を紹介する。

地震発生によって建物そのものが倒壊し、建物

地震や停電リスクに 対する備え

水道設備にトラブルが生じると、避難が困難な状況把握を中心とした初動対応を円滑に行うことができない。事業継続に必要な重要な活動ができなくなる。非構造部材や建築設備の耐震対策により影響を小さくしておき、初動対応や復旧対策など事業継続上重要な活動ができるようにしなければならない。次に「投資対効果を考

慮した現実的な瞬停・停電対策。一般的に日本では長時間停電はほとんど発生していないものと思われている。しかしながら近年、台風や洪水、雷などが原因による瞬時電圧低下や大規模な停電が頻発に発生している。精密機器などの製造において、わずかな電源電圧の変動が製造中の仕掛け品に影響を及ぼす。破棄するのではなく、状況が発生することもある。製造業においての瞬停や停電の被害は甚大になる。

また、ほとんどの企業が使用しているメールやウェブなどの社内システム、サーバ、電話、パソコンなどが停電で停止し、非常に重要な業務が中断する。場合においても、前述と同様に業務も停止してしまいがちだが、大きな被害が及ぶ可能性がある。このような状況下において、すべての設備に対して停電対策を行うことは多額の投資となるため、現実的ではない。

そこで企業における停電対策のポイントは重要な事業や業務を洗い出し、システムやプロセス全体で見、最も効果的な対策を行うことである。

最近のほとんどの企業では非常時でも業務が停止しないように無停電電源装置(UPS)やバックアップ用の非常用発電機などが設置されている。しかし、実際の災害時に、非常用発電機を動



図1 総合的な視点での災害対応

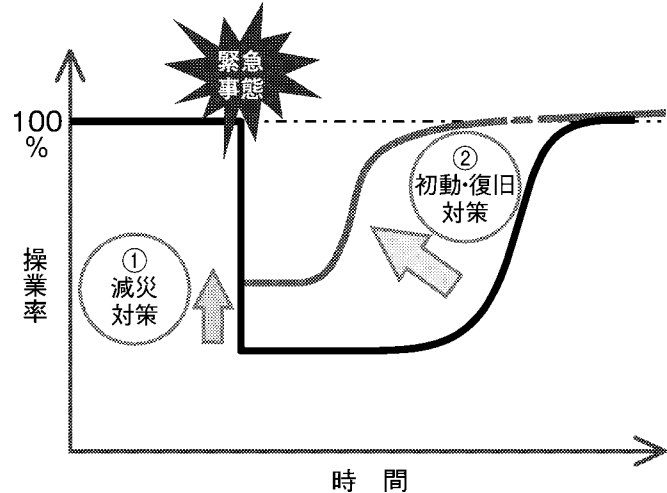


図2 事業継続を支える二つの対策

二つのポイントとして挙げるのは「組織の現状レベルに合わせてBCPをスモールスタートさせる」ということである。BCPに対する取り組みについては「組織への定着」をより確実なものとする際の企業の課題は、事業継続に対する取り組みの実現モデルをどのように設計し、またそれをどのように開始させるかに運用していくか、ということである。

BCPを推進していくプロジェクトチームが考

事業継続に向けた取り組みを行う上での三つのポイントは「減災対策の活用」「スモールスタート」「BCP人材の育成」にある。事業継続に向けた取り組みを行う上での三つのポイントは「減災対策の活用」「スモールスタート」「BCP人材の育成」にある。事業継続に向けた取り組みを行う上での三つのポイントは「減災対策の活用」「スモールスタート」「BCP人材の育成」にある。

減災対策と初動・復旧対策 バランスよく戦略的に

同じような大きさで、ゆとりでも構わないが確実に行う必要がある。②初動・復旧対策に整った状態である。この対策は事業継続を支える上で重要な両輪である。

インや書籍の丸写しでは、BCPの本質が理解されず、また人材育成につながらない。企業の実現モデルを設計し、開始させていくためには専門的な知識が必要となる。そこで、BCPをスタートさせようとする企業にとって専門のコンサルタントを活用することが極めて効果的である。

最後に「BCP人材の育成」。もちろん、専門家に任せきりではない。実践的で本当に活用できるBCPにするためには、推進体制を作り、コアの人材を育てることが重要だ。専門家とともに作業を進めながら、知識やノウハウを吸収し、次回以降は自社の人材だけで取り組みを進めていけるようにすることが、継続した対策には欠かせない。

個別の対策ではなく 総合的な視点で

一つのポイントとして挙げるのは「個別の対応ではなく、総合的な視点での対応が必要である」ということだ。図1

近年の地震や水害など自然災害によるリスクが顕在化する中で「災害時でも事業を継続できるのか」という不安から、多くの企業において「BCP(事業継続計画)」が整備されている。ここではファシリティーエンジニアおよびBCPコンサルタントの両方の知識・経験から、企業が事業継続に向けた取り組みを行う上で三つのポイントについて解説していく。

BNTFアシリティーズ
BCPビジネス本部 副本部長
AMBCI (英国BCI認定)
プロフェッショナル資格
江間 恒尊

マイコンメーターは、大きな地震などの時に
ガスをストップします!!

★マイコンメーターとは、マイコン制御を組み込んだ断電付ガスメーターのことです。

赤ランプが点灯している場合
マイコンメーターの復帰方法

- 器具栓を閉めるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止める。
- メーターのガス栓は開けない。復帰ボタンのキャップを左に回して外す。
- 復帰ボタンを奥までしっかり押し、ゆっくり手を離す。(ボタンは元に戻り、赤ランプは再び点滅。キャップは元に戻す)
- 約3分待つ。(ガス漏れがないか確認しているため、3分間ガスを使用しないでください) 3分後ランプが消えれば使用できます。

※ガス臭い時は、以上の操作は行わず、下記までご連絡ください

●ガス漏れ専用電話
市川 047-325-1049

京葉ガス

豪雨・洪水による浸水対策に
FMスタンダップ

不意の浸水に自然作動するフロート式防水板です
地下駐車場・工場・店舗の入口であなただけの財産を守ります

株式会社 **FMバルブ製作所**
URL <http://www.fmvalve.co.jp>

本社・工場 〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下597
TEL (04) 2944-2161 FAX (04) 2944-0044
東京支店・大阪営業所・仙台営業所・名古屋営業所・九州営業所・札幌営業所

第15回 震災対策技術展2/3~4・パシフィコ横浜 出展!!

世界のマーケットが注目!! 水を注ぐとたちまち発熱! 98℃の高温で持続
食品加熱・加温剤 発熱剤および発熱剤を使用する方法
モーリアンヒートパック

日本特許登録第3467729号 欧州特許登録第1126004号
米国特許登録第6200357号 韓国特許登録第0407582号

平成16年度「彩の国産業技術大賞」特別賞受賞!
●水を注ぐとたちまち発熱 「モーリアンヒートパック」(日・米・欧・韓に特許登録商品)

●火や電気を使わずに、いつでもどこでも水を注ぐだけで、高温の蒸気が発生し、食品等を簡単に加熱調理できる発熱剤です。

●従来品に比べてパワーアップ・軽量化に成功した発熱剤を使用しています。

●防災・アウトドア・企業備蓄・湯沸し・弁当加熱・ホテル・旅館・結婚式場・飲食店・教材用にと様々な提案が出来ます。

株式会社 **協同** 詳しいお問い合わせは…担当 中島 まで
〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢1097-1 TEL.04(2965)4221
FAX.04(2965)4302
<http://www.morians.co.jp/> E-mail kido@morians.co.jp

地震対策 — 長年培った技術とノウハウで、地震に強い機械室づくりをサポート

より確かな安心のために

国内有数の三次元地震波発生装置で検証。
昭電の地震対策製品。

地震などの自然災害が多発する昨今、企業に求められるのは災害時のBCP(事業継続計画)です。昭電の三次元地震波発生装置は、阪神・淡路大震災などの地震波加振や定常波試験も行える国内有数の振動試験設備。この試験設備による極めて厳格な条件下でのテストをクリアし、お客様の機械室を守るためにご提供しているのが、昭電の地震対策製品です。インフラ・スペシャリスト昭電ならではの地震対策製品を、是非御社のBCPにお役立てください。

株式会社 **昭電** 本社 〒130-8543 東京都墨田区太平4丁目3番8号 TEL.03(5819)8373
北海道 011(271)6701 東北 022(222)1401 名古屋 052(936)3311 北陸 076(431)2011 大阪 06(6345)3221 中国 082(246)5711 四国 087(821)9231 九州 092(731)0373 沖縄 098(869)0215

ホームページ www.sdn.co.jp